

1956初代アーケード
1985アーケード改築

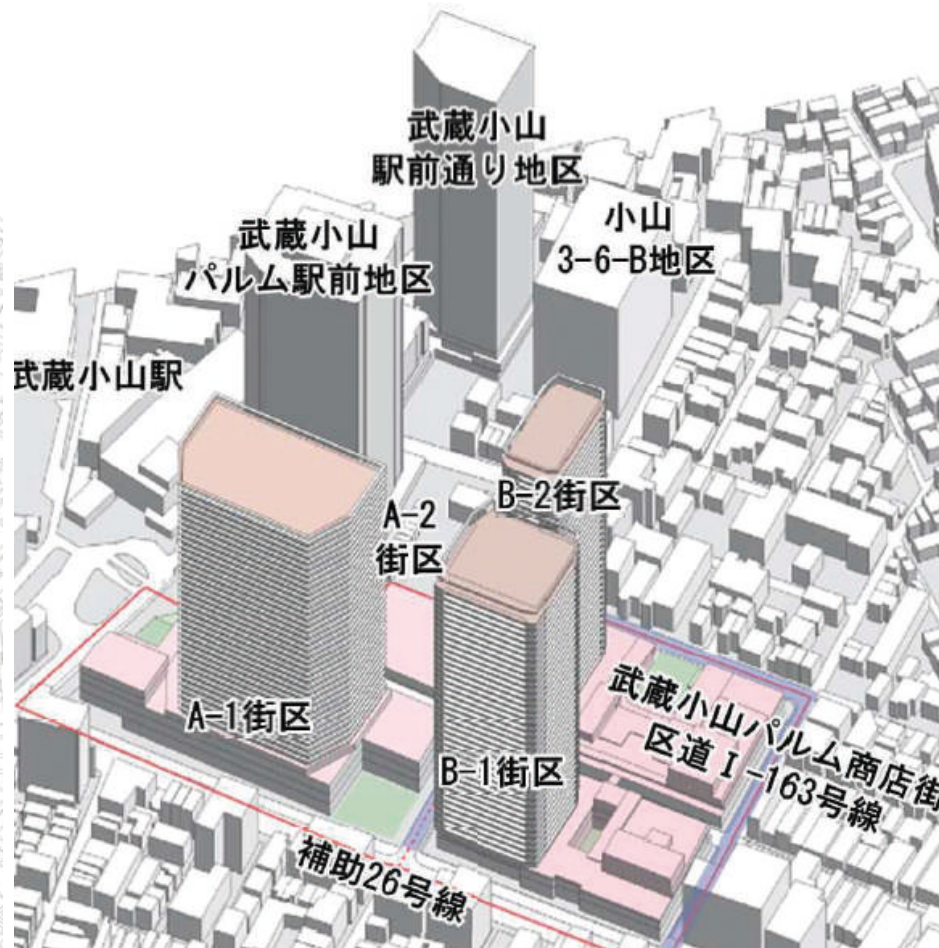
1995-2010
目黒線立体化、
駅広、駅ビル、緑道

2004-しゃれ街
街区再編まちづくり
街並み再生地区
計画当初のイメージ

最高60mの共同建替
地域貢献に応じた
ボーナスの付与

2011-
改めて景観ルール
タワーマンション型
再開発に転換
145m

現在進行中の
再開発ビル
パルム商店街
アーケードを
含んだ計画に



武蔵小山駐輪場



定期利用

当日利用
時間利用

■ : 新たな放置禁止区域
■ : 現在の放置禁止区域
■ ■ : 自転車等駐車場

品川区内の他の駅とは異なり
公設の駐輪場はない

通勤通学
利用

放置自転車令5年都調査
(平日午前11時 主に通勤通学)
乗り入れ台数 1363台 一般駐輪施設
実利用+放置
収容能力 1806台
放置台数 161台 品川区では最大
区指導員5名毎日 年間撤去約2500台
(区全体での返還率は75%)

定期利用
東急地下化上部利用 二カ所
約890台

再開発に誘導 (しゃれ街・街区再編)
約430台

買い物等
の利用

アーケード通りは押しチャリ
7-24時乗り入れ禁止

商店街組合による
自主的な巡回指導の活動

附置義務駐輪場
(300㎡以上の店舗からで
目黒区より厳しめ)

当日時間利用
再開発に誘導 (しゃれ街・街区再編)
約410台

商店街組合直営 (駐車場の一部転用)
約100台

その他の民営駐輪場 (空地利用等)
約170台

東急駅ビル敷地に付設
約150台

個別店舗、ビルに付設
最近の建て替えビル
ドラッグストア等の店頭



東急地下化上部

定期利用

鉄道跡地幅10mほど
駅の両側

三井のリパーク
& 三井不動産リアルティ
MITSUBISHI FUDOKAN REALTY

自転車駐輪場



営業時間 5:00~25:00

最初の60分 無料
以降 6 時間毎 100円

ご利用規約
 1. 本駐輪場の利用は必ずお申し込みください。
 2. 駐輪場内では自転車の修理、清掃、洗車はご遠慮ください。
 3. 駐輪場内での事故・盗難・盗難等、一切のトラブルについて責任は負いません。
 4. 駐輪場内の駐車を確保し、確保した場合はその場所を確保していただきます。
 5. 本駐輪場の利用は必ずお申し込みください。お申し込みは必ずお申し込みください。
 6. 本駐輪場の利用は必ずお申し込みください。お申し込みは必ずお申し込みください。
 7. 本駐輪場の利用は必ずお申し込みください。お申し込みは必ずお申し込みください。

定期料金 (月額・税込)	1F		B1F	
	上段ラック	下段ラック	上段ラック	下段ラック
2,400円	4,400円	1,200円	2,700円	

リパークコールセンター ☎ 0120-043-222

駐輪場名 パークシティ武蔵小山 駐輪場



定期車庫



時間貸・定期

再開発に組み込み
→容積ボーナス

定期利用
時間利用

一階と地下があるが地下は空いている



駅前通り地区 (シティタワー武蔵小山)

容積率 : 300% (一部400%) ⇒ 650%
 用途 : 共同住宅、店舗等、
 公益施設 (地域センター、
 区民集会所)
 事業 : 再開発事業
 (令和3年4月竣工)

約145m 506戸
 駐車場 住宅用126 来客用3荷捌き、施設用
 駐輪場 住宅用700 施設用100 一般用90
 ミニバイク置き場 住宅用25



パルム駅前地区 (パークシティ武蔵小山)

容積率 : 400% (一部500%) ⇒ 700%
 階数 : 地上41階
 高さ : 約142m
 用途 : 共同住宅、店舗、公共的駐輪場、
 子育て支援施設、防災備蓄倉庫
 事業 : 再開発事業
 (令和元年12月竣工)

598戸 + 30戸
 駐車場 機械式176 平面2
 駐輪場659 ミニバイク73 一般用751



民営 空地の利用

時間利用

商店街での取り組み



押しチャリ

乗り入れ禁止 7-24時



商店街直営駐輪場 時間利用

- ・ 組合会館駐車場の一部を改修転用
- ・ 料金は商店街の活動や自主指導にあてる



店先軒下の駐輪

指導整理員あり



新築建物の付置駐輪

- ・ 後退したスーパーの店頭
- ・ 路地奥の裏庭

- ・押しチャリはアーケードのように区域がはっきりとしていれば誘導、受け入れしやすいだろう。
- ・地下駐輪は利用率高くない。料金に大きく差をつけている。
- ・定期利用と当日利用の配分は工夫が要る。通勤通学も毎日ではない人にとっては当日利用の料金が有利な場合も。
- ・駐輪場が十分にあってもある数の放置は生じる。
利用しない人は利用しない。
- ・店頭駐輪はスーパーなどのガラス店頭は利用できるが後退のあり方と合わせて検討がいる。
オープンな間口の連なる軒先ではとりにくい。
- ・スーパーやドラッグストアなど自転車利用の多い店とそうでない店での事情を考慮したい。

参考 東京都調査 令和5年度調査 駅前放置自転車等の現況と対策
 平日（10月晴天）の午前11時 →基本通勤通学での駅までの利用者

	武蔵小山	自由が丘	都立大学	学芸大学
乗入台数	1363	699	1232	1549
収容能力	1806	883	3523	1955
放置台数	161	86	75	165
乗入台数は、一般駐輪施設の実際の利用台数と路上放置台数の和		2004-06年には都内有数の放置台数1300-1800台。南口対策後は減。近年は100台以下。都立大学に流れている分もあり、受け入れれば利用も増えるのではないか。	2017年ごろ駐輪場増設もあり、収容力は十分だが、年によっては数十台程度の放置自転車が見られる。乗入数はやや減少。	放置台数70-180台で増減している。乗入数は近年はほぼ横ばい。

- ・あくまで路上の放置自転車なので民有地内、軒先に置かれたものなどは含まない。
- ・これまでは放置自転車対策として主に通勤通学の方を対象にした調査だった。
- ・夕方買い物客等の実態調査は確たるものがない。
- ・世田谷区の独自推計では、夕方の放置は11時の二倍ほどになると見込む。
- ・重点は、放置自転車対策から、スマート利用にシフト。